

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人

『第一回欧州フュージョンエネルギー・イノベーション最前線調査団』 派遣に伴うご案内

フュージョンエネルギー(核融合)は次世代クリーンエネルギーの最有力候補として注目を集めています。特に欧州では、ITER計画や EURO fusion を軸に、基礎研究から産業化に至る大規模プログラムが展開され、民間投資と新規参入が急速に拡大しています。

日本政府の目標である「2030年代発電実証」に向け、本調査団は欧州の主要拠点にて、研究開発の現状と展望、産業界の連携、民間投資の状況、政策支援、人材戦略を直接調査し、欧州の専門家や企業との対話を通じて、国際協力の機会や産業界の参画可能性を探ります。本調査により、将来のエネルギービジョンを確立する上で不可欠な知見を得たいと考えています。

第一回欧州フュージョンエネルギー・イノベーション最前線調査団

団長：石田 真一 工学博士

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）

理事長アドバイザー

-検討項目-

（１）研究開発の現状と展望

欧州における核融合研究開発の技術水準、重点分野、今後の発電実証・商用化に向けたロードマップを把握。

（２）産業界の連携体制

研究機関-企業及び企業-企業の協力枠組み、共同開発の事例、産業界が果たしている役割を調査。

（３）企業参入の仕組み

入札や共同研究への参加ルール、サプライチェーン形成の実態、スタートアップや商社の参入事例を確認。

（４）規制・政策による支援の実態

政府・EUによる財政支援、安全規制等の制度、国際標準化の取り組み、税制・補助金などの産業育成策を調査。

（５）人材育成と専門人材の確保

研究機関や大学での教育・訓練プログラム、産業界と連携した人材育成の仕組み、専門人材の流動性と確保策を調査。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12

チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

本調査団の資料の入手
は、下記のQRコードを
スキャンしてください



『第一回欧州フュージョンエネルギー・イノベーション最前線調査団』

Survey Mission on European Fusion Energy Innovation Frontiers

参加要項

1. テーマ： 第一回欧州フュージョンエネルギー・イノベーション最前線調査団
「Survey Mission on European Fusion Energy Innovation Frontiers」
2. 期間： 2026年4月12日（日）～ 4月19日（日）（8日間）
3. 主催： 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 後援： 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
5. 団長： 国立研究開発法人 量子科学技術研究会開発機構
理事長アドバイザー 工 学 博 士 石 田 真 一 氏

略歴



1983年 米国プリンストン大学プラズマ物理研究所 客員研究員
1986年 東京大学大学院原子力工学専攻博士課程終了（工博）
1986年 日本原子力研究所入所、臨界プラズマ試験装置JT-60に従事
1993年 英国カラム研究所欧州トーラス共同研究施設JETにて長期実験参加
2002年 那珂核融合研究所炉心プラズマ研究室 室長
2007年 日欧共同プロジェクトJT-60SA計画 プロジェクトリーダー
2014年 日本原子力研究開発機構核融合研究開発部門企画調整室 室長
2016年 量子科学技術研究開発機構那珂核融合研究所 副所長
2018年 六ヶ所核融合研究所 副所長
2021年 六ヶ所核融合研究所 所長
2023年 核融合エネルギー部門 部門長
2024年 副理事
2025年 量子科学技術研究開発機構理事長アドバイザー、高度情報科学技術研究機構 神戸センター 副センター長

6. 調査項目：（案）

- ① 欧州におけるフュージョン(核融合)エネルギー研究開発の技術水準、重点分野、今後の発電実証・商用化に向けたロードマップの把握
- ② 研究機関-企業及び企業-企業の協力枠組み、共同開発の事例、産業界が果たしている役割の調査
- ③ 入札や共同研究への参加ルール、サプライチェーン形成の実態、スタートアップや商社の参入事例の確認
- ④ 政府・EU財政支援、安全規制等の制度、国際標準化の取り組み、税制・補助金などの産業育成策の調査
- ⑤ 研究機関や大学での教育・訓練プログラム、産業界と連携した人材育成の仕組み、専門人材の流動性と確保策の調査

7. 参加対象

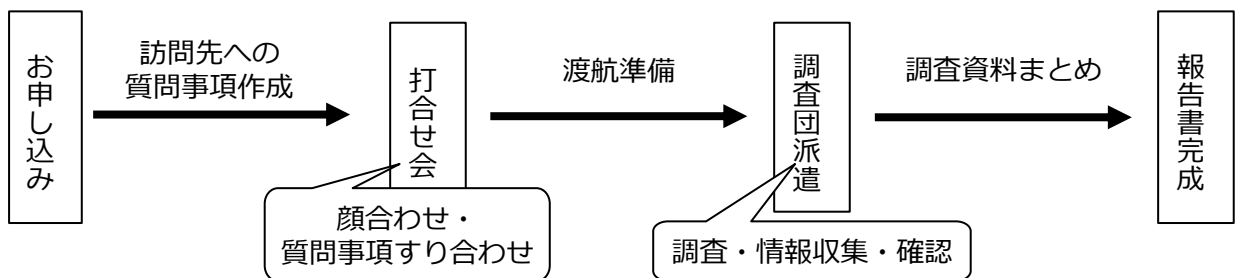
フュージョンエネルギーに携わる企業／団体／公的機関、及び今後 フュージョンエネルギー分野に参入する意思のある関係者の皆様

『第一回欧州フュージョンエネルギー・イノベーション最前線調査団』

-参加要項-

1. **募集人員**：10名
2. **参加費**：¥ 1,900,000－（税別 お申込金50万円（消費税別）を含む）
※日程その他に変更が生じた場合には、参加要項などに変更がありますことを予めご了承ください。
3. **ホテル**：一人部屋
4. **通訳・プロジェクトマネージャー**：現地同行
5. **総合事務局**：株式会社アジア技術移転機構
東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950
6. **運営実施**：観光庁長官登録旅行業者
7. **申込方法及び申込締切**：添付の参加申込書に必要事項をご記入の上、以下のものをご送付ください
 - ・参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー
 - ・名刺のコピー（和文・英文共）
 - ・記入済み参加申込書
 - ・顔写真データ以上を、**2026年2月6日（金）までに**、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）までお送り下さい。担当者よりご連絡申し上げます。
※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが、日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。
※打合せ会の日程につきましては、改めてご案内申し上げます。
8. **代金支払**：一般社団法人日本技術者連盟の総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。
期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。

お申込から調査団完了までの流れ



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

『第一回欧州フュージョンエネルギー・イノベーション最前線調査団』
日程表



2026年4月12日（日）～4月19日（日） 8日間						
日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	4/12 （日）	羽田発 ロンドン/ヒースロー到着	NH211	09：55 16：20	羽田国際空港 出発 ロンドン/ヒースロー国際空港 到着 オックスフォード泊	機内食 夕 ○
2	4/13 （月）		地上交通		オックスフォード→UKAEA（英国原子力公社） （United Kingdom Atomic Energy Authority） /Tokamak Energy/ First Light 訪問 オックスフォード泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	4/14 （火）	ロンドンヒースロー発 マルセイユ到着	BA346	08：55 11：50	オックスフォード→ ロンドン/ヒースロー国際空港 出発 マルセイユ・プロヴァンス空港 到着 エックス泊	機内食 昼 ○ 夕 ○
4	4/15 （水）				エックス→ 国際熱核融合炉実験 ITER/ F4E(Fusion for Energy) office at ITER)/ WEST at CEA 訪問 エックス泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	4/16 （木）	マルセイユ発 ミュンヘン到着	LH2263	13：35 15：20	マルセイユ・プロヴァンス空港 出発 ミュンヘン国際空港 到着 ガルヒン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	4/17 （金）		地上交通		ガルヒン → IPP ASDEX（ASDEX Upgrade）/ EUROfusio（European Consortium for the Development of Fusion Energy）/ Proxima Fusion（Proxima Fusion GmbH）訪問 ミュンヘン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	4/18 （土）	ミュンヘン発	NH218	11：15	ミュンヘン国際空港 発	朝 ○ 機内食
8	4/19 （日）	羽田到着	NH218	6:55	羽田国際空港 到着	機内食

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

NH: ANA国際線、BA:ブリティッシュ・エアウェイズ、LH: ルフトハンザドイツ航空

訪問先概要

訪問先	所在地	特徴・最近の動き
UKAEA（カラムセンター）	英国カラム	球状トカマクMAST-U、ロボット保守 RACE、トリチウム施設H3AT、材料研 究施設MRF、STEP計画
Tokamak Energy Ltd	英国ミルトンパーク	高温超伝導磁石＋球状トカマクST-40 の開発
First Light Fusion Ltd	英国オックスフォード	超高速射出体による慣性核融合、産業 応用に積極的
ITER /F4E Office	フランス・カダラッシュ	国際熱核融合実験炉ITERの建設現場。 ITER計画のEU国内機関。大型機器製 作・納入の最新情報
CEA-Cadarache（WEST）	フランス・カダラッシュ	超伝導トカマク装置WEST
IPP（ASDEX Upgrade） ／EUROfusion本部	ドイツ・ガルヒン	トカマク装置ASDEX-U。欧州DEMO 計画の中核、材料・炉設計ロードマップ 策定
Proxima Fusion GmbH	ドイツ・ミュンヘン	革新的ステラレータ炉の設計

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：お申込金 50万円（消費税別）、及び航空券・宿泊料金などのキャンセル料の実費（旅行社等支払分）
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%、及び企画手配料 10万円
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

- ◆ 参加費は、2025年9月末日時点の運賃及び5名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

参加における注意事項

■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

JEF ベストプラクティス視察団／調査団派遣理念

－ 世界の最良の現場に学ぶ－

◆理念

「越境」とは、今いる場所を一步外に出て、新しい知見や価値観を学ぶことです。

JEF ツアーは、海外の最前線を実際に訪れ、現地での一次情報、現場の空気、人との交流を通じて学びを深め、参加企業の経営革新と人材の創造的発展につなげることを目的としています。

◆意義

日本人は古くから「越境」によって成長してきました。

遣唐使・遣隋使に始まり、明治維新の欧米使節団、そして戦後の経営・技術視察団まで、外から学び、それを自国の発展に生かしてきた歴史があります。

この「外に出て学び、持ち帰り、実践する」という好循環こそ、企業再生の原動力であり、現代における“越境”の真の意義です。

◆越境のプロセス

1. 越境の意識を持ち、外に出る
2. 未知との出会いを通じて学び・成長する
3. 得た学びを持ち帰り、組織や企業内ネットワークに還元する

この一連のサイクルが、個人と組織のイノベーションを生み出す原動力となります。

◆越境が求められる理由

【個人にとって】

- ・働き方改革により多様な価値観と接する機会が増加
- ・人生100年時代への対応
- ・働き方の変化によるロールモデルの喪失

【組織にとって】

- ・持続的成長を支えるイノベーション人材の育成
- ・社会的責任（CSR・ESG）の強化
- ・組織と個人の関係性の再構築

◆生成AI時代における越境の価値

生成AIは便利なツールである一方、私たちの「現場で学ぶ力」や「一次情報に触れる機会」を奪う危険もあります。

AIには“現場”“現物”“現実”が存在しません。だからこそ、人との信頼関係を築き、現場で学び、実体験から思考する越境の学びが、これからの時代にますます重要になります。

◆期待されるJEF ツアーの効果

- ・世界で得た一次情報・実体験・海外人脈に基づく提言・報告・イノベーション創出
- ・新たなネットワークの形成と国際協働の促進
- ・自社の技術・経営・人材育成への直接的な還元



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>